

プログラム名 : mm2c

(L) 20090103/6/7/8/9 zioi(a)ieee

プログラムの主用途 : FreeMindで作成したCプログラムを.cフォーマットのプログラムに変換する

- 効果 :
- 1 プログラムの構造が見やすくなる
 - 2 プログラムブロックに名前を付けることができる
 - 3 "{","}",";"の形式的な補完機能を利用できる

使用法 : C : mm2c <[FreeMindで作成した.c形式ファイルの名前] >[.c形式Cプログラムファイルの名前]

- 機能説明 :
- 1 ノードの文字列をそのまま、その順序で出力する (以下に記載以外)
 - 2 ツリーを一段下げた部分は、{行と}行で囲んで出力する (以下の3~6以外)
 - 3 #COMの下は、コメントとして/* */の中に入れる
 - 4 #INCの下はノードごと、#include の後に並べる
 - 5 #DEFの下はノードごと、#define の後に並べる
 - 6 #STAの下は、#STAをはずして、単に並べる (indentは付く)
 - 7 #_で始まるものは、コメントとして/* */の中に入れる

- 8 ";"の入力省略機能
- ・ #行と最後が} や ; の行以外は、最後に ; を追加する
 - ・ #ADD_SEMICOLONと#NO_ADD_SEMICOLON (既定) で切り替えができるようにした
 - ・ オンのとき、 ; が自動挿入されるので、文の途中でノードを変更してはいけない
 - ・ 最後が{で次に続くノードも不都合
 - ・ 最後が} でも ; が必要な行がある (structure 宣言文など)
 - ・ このような行だけ;を入力する必要があるのは、混乱要因なのでoptionにした

- 補足説明 :
- 1 コメントのみをノードにすることもできるので、機能ブロック名に使うとよい
 - 2 FreeMindで全部表示しても充分見渡せる程度のプログラムサイズにするのが賢明である
 - 3 FreeMindでは、"などの記号が"&...;"で内部表現されているが、分かっている分だけ元の文字に戻している

- 注意
- .mmファイルでは、色変更も1段下のノードで記述される
 - .mmファイルでは、データ中の"などは"""などに変換されている

このプログラムはmm2plを改造したため、問題を持っている。大幅改良が必要である。

- 課題 :
- 1 実行時エラーは.c形式ファイルに対するものなので、FreeMindではエラー部分の判断がやや難しくなる
 - 2 日本語でコメントを書けるが、Cファイルでは"&#x....;"でunicode表記のままになる
 - 3 #COMなどの下は1段しか有効でない。また、そこに#の行があると正しい処理をしない可能性がある。

mm2c解説